

# タカポ

2001 11/7  
479

dacapo

特別  
定価 350 YEN

2001年11月7日号(第1・第3水曜日発行)/第21巻 第20号 昭和56年12月23日第三種郵便物認可



# マスメディア

# 使えるホテル ランキング

# 女の気持ち が分からない

# 信用度 調査



「現代」が3時間でわかる情報誌







西和彦

にし・かずひろ  
1956年生まれ、ア  
スキー・特別顧問。  
博士（情報学）

も、そして書き込みのルールや慣習などまですべてがユーザーにゆだねられるのであれば、2chはいわば「神の手」に操作される「意志なきメディア」といえよう。それゆえの「言いたい放題」な雰囲気がいメーを悪くしているのも事実だが、多くのユーザーが心引かれる理由もまたそこにあるの

## ネット巨大掲示板の可能性

井上さんが2chを「原始的なメディアへの回帰」だとする一方で、アスキー特別顧問の西和彦さんは既存のメディアの枠組みを例にあげてネット掲示板の本質について話す。

「例えば、メルマガジンを定期購読している『新聞』だとすると、インターネットサイトっていうのは『雑誌』と同じ。BBSはいわ

ば電子投稿雑誌だね」

並んでいる情報の中から何を選び取るのかを自分で決めるといって、インターネットサイトと「雑誌」とは共通点が多い。大ざっぱにメルマガを「新聞」、ウェブサイトを「雑誌」としてみると、確かに既存のマスメディアの枠組みのなからネット掲示板の姿がおほろげに浮かびあがってくる。

「雑誌の『誌』という字は言葉に志と書くよね。だからその内容が偏向していても構わない。それは2chにしても同じで偏向しても別にいいんだ。だけど、あれはクレージー電子雑誌だな（笑）」

自ら2chに登場し、良くも悪くも話題になった経験のある西さんは、そう言い添えてからネット巨大掲示板の可能性について語る。「今は『掲示板』がインターネットのコミュニティで使えるものとして認知されるかどうかの瀬戸際なんだ。2chのように『噂』や『あおり』が飛び交うモノだけがネット掲示板のイメージになっているけど、それは違う。新聞にス

ポーツ紙から経済紙までがあるように、巨大掲示板もいかがわしいモノからまじめなものまでいくつもの種類に分かれていかなきゃ」

## 他のメディアを監視する役割も!?

同ページで紹介されている「1ch.tv」も、いわば新しい「雑誌」が創刊されたと考えればイメージしやすい。ゴシップ誌、言論誌……有料、無料……さまざまなか色がなされていくことによって、「インターネット巨大掲

ついでにできた

## 1アクセス5円の有料掲示板発進

インターネットの掲示板は読むのも書き込むのも基本的に無料。だけど、書き込まれた情報が「価値」あるモノなら、対価があつてもいいのではないか、という考え方もある。掲示板サイト最大手の「2ちゃんねる」に対抗（？）し、新たなインターネット掲示板サイトが試験運用に入っている。その

「匿名掲示板では他のメディアの報道やある企業の商品、対応などについて、良い面も悪い面も自由に意見や経験を発せられる。となると、今後、2ch的なメディアが他のメディアや企業を監視する、オンブズマン的な役割を担うことも予想されますね」

メディアとしてどう認知され、どこへ着地するのか。答えは少しずつ出てきているようだ。

名も「1ch.tv」。本文に登場している西和彦さんも協力者の一人だ。この掲示板サイトは従来の無料配信に加え、自分の発した情報に価値があると思えば、本人が書き込みで1アクセス5円程度の課金を設定することが可能なシステムになるそう。名称も「ウェブ・マガジン」と雑誌を意識し、従来の2ch的な掲示板イメージから脱却を図っている。成功するかどうかは本格運用まで分からないが、ネット掲示板の可能性の一つを示すことにはなるかも。